

平成18年度 第1回豊田市スポーツ振興審議会 会議録

日時： 平成18年7月11日(火) 午後2時～4時

場所： 豊田市役所教育委員会議室

出席者： <委員> 北川 薫 (中京大学体育学部)教授  
牧原 良行 (豊田加茂医師会理事)  
小幡 銀伸 (豊田市体育協会会長)  
鈴村 幸雄 (豊田市体育指導委員連絡協議会会長)  
窪田 真也 (豊田加茂教育事務所教育主事)  
福島 豊 (事業所代表)  
岩月 富士雄(豊田市身障協会体育部長)  
山田 静男 (豊田市区長会代表)  
手嶋 道雄 (豊田市スポーツ少年団本部長)  
平林 栄子 (スポーツ指導員代表)  
北村 幸子 (女性スポーツ団体協議会会長)  
清水 和雄 (豊田市小中学校校長会代表)  
大内 光子 (学識経験者)  
中野 幸彦 (学識経験者)  
新見 守 (市民公募)  
<事務局> 笠井 保弘 (豊田市教育委員会)  
今井 伸和 (豊田市教育委員会)  
梅村 孝志 (豊田市教育委員会)  
近藤 保之 (豊田市教育委員会)  
加藤 東 (豊田市教育委員会)  
柴田 康宏 (豊田市教育委員会)  
西脇 委千弘(豊田市教育委員会)  
宇井 和廣 (豊田市教育委員会)  
杉山 由佳 (豊田市教育委員会)

- 次第 1 委嘱状交付、 新委員あいさつ
- 2 教育委員会挨拶
- 3 会長挨拶
- 4 議題
- (1) 「市町村合併に伴うスポーツ施設の整備充実」について  
各地区のスポーツ施設とスポーツ活動の現状
- (2) 公共料金の見直し及び学校開放施設の有料化について
- (3) (仮)豊田市総合体育館愛称選考委員について
- 5 報告事項
- (1) スポーツクラブの現状について
- (2) 18年度主要事業の概要について
- (3) その他
- ・ (仮)豊田市総合体育館オープニング記念事業計画(案)
  - ・ 平成18年度スポーツ行事予定

## 議事等の摘要

### 1 委嘱状交付 新委員あいさつ

### 2 教育次長あいさつ

- ・ 今年度のスポーツ審議会の役割として、昨年度に合併町村におけるスポーツ施設の整備のあり方と言うことで、諮問させていただいた。今年度は、その施設をどのように活用していくか、また、どのようなものがあるか検討いただき、答申いただきたい。  
豊田市のスポーツ振興のために審議会でご議論いただき市に提案、意見をいただきたい。

### 3 会長あいさつ

- ・ 前回、合併町村のスポーツ施設を見ていただいたので、既存施設の活用、地域に即した施設づくりなどについて、積極的なご意見をいただき答申していきたい。

### 4 議題

#### (1) 『市町村合併に伴うスポーツ施設の整備充実』について

事務局： (資料に基づき説明)

委員： 各地区のスポーツ環境と課題の中で、「適切な維持管理が求められる」とあるが、何か利用上の問題があるのか。

事務局： 利用上の問題ではなく、旧市内の施設と比べて十分な維持管理（清掃等）がされていないという意味である。

委員： 旧町村各地区の人口の推移を見ると、藤岡地区以外は減少の傾向にある。市として何か対策を打つことは考えているのか。

事務局： スポーツ課では、詳細な分析はしていない。現在、第7次総合計画を策定中のため、その中で議論されていくことになる。ただ、対策をうたなければ、人口の減少や高齢化率の増加は避けられないと思われる。

委員： スポーツ施設の整備も、人口の推移や高齢化率を勘案する必要がある。

委員： 事務局は、旧町村の各地区にも旧市内と同じような施設を整備していく考えか。各地区の特性を活かした施設を整備していく考えか。藤岡では少年野球が盛んなので野球場を造るとか、各地区は高齢化が進んでいるので、高齢者に配慮した施設を造るなどの考えが必要なのではないか。

事務局： 旧市内では、1地域1体育館・1地区1運動広場が施設整備の基本の方針である。旧町村では明確な方針がないため、今回議論をしていただいている。

委員： 旧町村の各地区にやみくもに施設を造るような計画ではいけない。

事務局： スポーツ活動の基本である体育館と運動広場は、最低限で位置付け、その他は、各地区の特性にあった施設を位置付けるという考え方もあるのではないかと。例えば、体育館は旧東西加茂に1箇所、運動広場は、各地区に1箇所という考え方はどうか。

委員： 旧東西加茂の単位でまとめても、スポーツ人口は多くない。体育館は、旧町村全てで1箇所でもよいのではないかと。

委員： 例えば、旧東加茂の中心が足助地区であるから、足助地区に体育館を位置付けたと

しても、特に高齢者は足助地区までの交通手段がない。身近な場所で、健康づくりができるような施設があった方が良いのではないか。

委員： 「健康づくりができる施設」と「競技ができる施設」を分けると、問題が整理されるのではないか。

事務局： 今回意見をいただいた内容を元に、次回は、「地域の特徴」「健康づくり」「競技」の3つのキーワードで整理し、再度議論していただく。

## (2) 公共料金の見直し及び学校開放施設の有料化について

事務局： (資料に基づき説明)

委員： 体育館の夜間や土日料金は非常に高い(1.5倍)。今回見直すことはないのか。

事務局： 利用率が高いと見込まれる利用区分の料金設定が高いことは、利用率を出来るだけ平準化しようとした措置と聞いている。市全体の方針であり、今回見直す方向にない。

委員： 学校開放の有料化により、今まで利用していた団体がやめてしまうのではないか。

委員： 減免措置はどうか。

事務局： 減免措置は今後検討していく。

委員： 公平性の問題もあり、ある程度受益者負担は仕方ないのではないか。

## (3) (仮)豊田市総合体育館愛称選考委員について

事務局： (資料に基づき説明)

委員： 新体育館の愛称募集に今どのくらい応募があるのか。

事務局： 現在のところ800~900件の応募がある。

委員： 委員から2名の選出ということ。

## 5 報告事項

(1)スポーツクラブの現況について

(2)18年度主要事業の概要について

(3)その他

- ・(仮)豊田市総合体育館オープニング記念事業計画(案)
- ・平成18年度スポーツ行事予定